

広報8月号では、7月10日に開催された「第1回新幹線まちづくりワークショップ」での様子や雰囲気を写真などでご紹介しましたが、その中での意見・アイデア等を一部ですが、ご紹介いたします。



第1回新幹線まちづくりワークショップでは どんな意見・アイデアなどが出たのかな？



当日は28名の参加により【想像しよう！20年後の私と長万部】をテーマに三つのグループに分かれ、将来の自分の生活や長万部のまちはどうなっているだろう？どうなってほしいか？について願望も含めたアイデアなどを出し合いました。それらの意見・アイデア等をまとめ次のように分類しましたので、ご覧ください。

1. 歴史・自然・フィールド（での魅力づくり）＝長万部が持つ歴史・自然を活かす＝

- ・歴史遺産（古戦場、シャクシャイン）
- ・お花畑（薬草園）
- ・駅⇔坊主山展望台（噴火湾一望）⇔散策路（歩いて美しい道の整備）駅～温泉街～文教施設～坊主山への貫通道路を作る。
- ・サーフィンのいい波が来るポイントとして有名に。海がきれいになって海水浴ができる。・町木を黒松から長万部の四季を感じられるような広葉樹へ
- ・土地の利活用（ドッグラン、子どもの遊び場、サイクリング・散歩コースなど）
- ・釣り（貸し釣り竿、釣り船、魚をさばける貸し台所）

そのまんまイデオ



3. 情報・連携（をすすめる）＝長万部とその周辺地域からの情報発信＝

- ・周辺の市町村を巻き込んだブランドの立ち上げ
- ・観光情報の発信拠点
- ・観光施設との連携や交流
- ・メディアにまんべくん／結婚→子供

7. まち全体のあり方・イメージ＝まちづくりの方向性＝

- ・山あり海あり、自然体験できる町を全国にアピール
- ・都会から、大勢の子どもたちが集まり、賑わいのある町にしたい。
- ・ちょっと人口増
- ・交通の要衝（胆振の玄関口）
- ・商店街が昔のようににぎやかになってほしい。
- ・車が無くても困らないように
- ・サイレンの代わりに音楽を
- ・夏の別荘地として北海道の軽井沢を目指す！
- ・今の長万部の雰囲気を残しつつ、にぎやかで明るい町になってほしい。
- ・手ぶらで遊ぶおしゃまんべ

5. 温泉街（に賑わいを）＝「温泉街」に特化＝

- ・長万部温泉が全国区になってほしい！
- ・温泉街の復興
- ・にぎやかな温泉街
- ・温泉口に足湯
- ・温泉街にもお店、売店

チーム「んだね!!」



青組



2. 新幹線・鉄道・交通（を活かす）＝新幹線+他の交通機能・資産を活かす＝

- ・噴火湾口に道の駅やマーケット
- ・公共交通の充実
- ・貨物基地（貨物新幹線）
- ・改札口の名称を「噴火湾口／温泉口」に
- ・救急新幹線
- ・鉄道マニアを取り込む
- ・SLの復活
- ・駅を中心にレンタカー、ホテル、ストアができる
- ・秘境のJR小幌駅

4. 教育・文化・スポーツ（での取組）＝既存の教育機関やスポーツを活かす＝

- ・中高一貫校設置（理科大付属）
- ・理科大を中心とした学園都市に
- ・広い運動公園（サッカー場・天然芝）
- ・最高のスタジアムで合宿受入・研究施設の誘致（薬品など）

6. 新しい施設やお店など（の充実）＝1～7にない施設やお店などの整備＝

- ・坊主山にある泉源の活用
- ・オーシャンビュー温泉（おしゃまんびゅー）
- ・病院など医療施設の充実（人にやさしい町）
- ・ちょい乗り（町内限定）レンタカー
- ・町のちょい貸し店舗
- ・駅のお店
- ・駅にラッキーピエロ
- ・やっぱり温泉（足湯）

■ 新幹線に関するお問い合わせやアイデア・ご意見はこちらへ《まちづくり新幹線課》

◆ メールアドレス：m.s-k@town.oshamambe.lg.jp ☎ 2-2450 FAX 2-4884

町HPでの北海道新幹線の情報はこちらでご覧いただけます。http://www.town.oshamambe.lg.jp/modules/politics/category0005.html

